■高等学校学習指導要領*との整合性（逆引き） Cambridge English Qualifications
*平成21年3月9日 文部科学省 告示 第34号
2017年度 高校教科書採択状況　　出所：2017年2月3日 内外教育

1. コミュニケーション英語基礎	50,556冊 (1.0%)
2. コミュニケーション英語Ⅰ	1,263,714冊 (25.8%)
3. コミュニケーション英語Ⅱ	1,107,562冊 (22.6%)
4. コミュニケーション英語Ⅲ	765,586冊 (15.6%)
5. 英語表現Ⅰ	904,034冊 (18.4%)
6. 英語表現Ⅱ	642,661冊 (13.1%)
7. 英語会話	168,317冊 (3.4%)
計	4,902,430冊 (100.0%)

（参考）センター試験の出題範囲
・コミュニケーション英語Ⅰ
・コミュニケーション英語Ⅱ
・英語表現Ⅰ

CEFR　■合格基準レベル　□測定可能レベル
●：該当　○：関連性有り

				4技能統合				CEFR Level	1 A2 Key	2 A2 Key for Schools	3 B1 Preliminary	4 B1 Preliminary for Schools	5 B2 First	6 B2 First for Schools	7 C1 Advanced	8 C2 Proficiency	9 Linguaskill	Cambridge Englsih Scale
								C2							C2	C2	C2	200+
								C1					C1	C1	C1	C1	C1	180-199
								B2			B2	B2	B2	B2	B2		B2	160-179
								B1	B1	B1	B1	B1	B1	B1			B1	140-159
								A2	A2	A2	A2	A2					A2	120-139
				R	L	W	S	A1	A1	A1							A1	100-119
1	1-0	第1款　目標	外国語を通じて，言語や文化に対する理解を深め，積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り，情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う。	●	●	●	●	9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
2	2-1	第1　コミュニケーション英語基礎	1　目標 英語を通じて，積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに，聞くこと，話すこと，読むこと，書くことなどの基礎的な能力を養う。	●	●	●	●	9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
3	2-1	第1　コミュニケーション英語基礎	2　内容 (1)　1の目標に基づき，中学校学習指導要領第2章第9節の第2の2の(1)に示す言語活動を参照しつつ，適切な言語活動を英語で行	－	－	－	－	0										
4	2-1	第1　コミュニケーション英語基礎	(2)　(1)に示す言語活動を効果的に行うために，それぞれの生徒の中学校における学習内容の定着の程度等を踏まえた上で，中学校学習指導要領第2章第9節の第2の2の(2)のアに示す事項を参照しつつ，適切に指導するよう配慮するものとする。	－	－	－	－	0										
5	2-1	第1　コミュニケーション英語基礎	3　内容の取扱い 中学校における学習との接続と「コミュニケーション英語Ⅰ」における学習への円滑な移行のため，主に身近な場面における言語活動を経験させながら，中学校における基礎的な学習内容を整理して指導し定着を図るものとする。	－	－	－	－	0										
6	2-2	第2　コミュニケーション英語Ⅰ	1 目標 英語を通じて，積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに，情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。	●	●	●	●	9	●	●	●	●	●	●	○	○	●	
7	2-2	第2　コミュニケーション英語Ⅰ	2　内容 (1)　生徒が情報や考えなどを理解したり伝えたりすることを実践するように具体的な言語の使用場面を設定して，次のような言語活動を英語で行う。	－	－	－	－	0										
8	2-2	第2　コミュニケーション英語Ⅰ	ア　事物に関する紹介や対話などを聞いて，情報や考えなどを理解したり，概要や要点をとらえたりする。		●			9	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
9	2-2	第2　コミュニケーション英語Ⅰ	イ　説明や物語などを読んで，情報や考えなどを理解したり，概要や要点をとらえたりする。また，聞き手に伝わるように音読する。	●			●	9	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
10	2-2	第2　コミュニケーション英語Ⅰ	ウ　聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，話し合ったり意見の交換をしたりする。	●	●		●	8	●	●	●	●	●	●	●	●		
11	2-2	第2　コミュニケーション英語Ⅰ	エ　聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，簡潔に書く。	●	●	●		9	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
12	2-2	第2　コミュニケーション英語Ⅰ	(2)　(1)に示す言語活動を効果的に行うために，次のような事項について指導するよう配慮するものとする。	－	－	－	－	0										
13	2-2	第2　コミュニケーション英語Ⅰ	ア　リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴，話す速度，声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。		●		●	9	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
14	2-2	第2　コミュニケーション英語Ⅰ	イ　内容の要点を示す語句や文，つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。	●		●		9	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
15	2-2	第2　コミュニケーション英語Ⅰ	ウ　事実と意見などを区別して，理解したり伝えたりすること。	●	●	●	●	9	○	○	●	●	●	●	●	●	●	
16	2-2	第2　コミュニケーション英語Ⅰ	3 内容の取扱い (1)　中学校におけるコミュニケーション能力の基礎を養うための総合的な指導を踏まえ，聞いたことや読んだことを踏まえた上で話したり書いたりする言語活動を適切に取り入れながら，四つの領域の言語活動を有機的に関連付けつつ総合的に指導するものとする。	－	－	－	－	0										
17	2-2	第2　コミュニケーション英語Ⅰ	(2)　生徒の実態に応じて，多様な場面における言語活動を経験させながら，中学校や高等学校における学習内容を繰り返して指導し定着を図るよう配慮するものとする。	－	－	－	－	0										
18	2-3	第3　コミュニケーション英語Ⅱ	1　目標 英語を通じて，積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに，情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす。	●	●	●	●	9	○	○	●	●	●	●	●	●	●	
19	2-3	第3　コミュニケーション英語Ⅱ	2　内容 (1)　生徒が情報や考えなどを理解したり伝えたりすることを実践するように具体的な言語の使用場面を設定して，次のような言語活動を英語で行う。	－	－	－	－	0										
20	2-3	第3　コミュニケーション英語Ⅱ	ア　事物に関する紹介や報告，対話や討論などを聞いて，情報や考えなどを理解したり，概要や要点をとらえたりする。		●			9	○	○	●	●	●	●	●	●	●	
21	2-3	第3　コミュニケーション英語Ⅱ	イ　説明，評論，物語，随筆などについて，速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また，聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。	●	●		●	9	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
22	2-3	第3　コミュニケーション英語Ⅱ	ウ　聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，話し合うなどして結論をまとめる。	●	●		●	8	○	○	○	○	●	●	●	●		
23	2-3	第3　コミュニケーション英語Ⅱ	エ　聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，まとまりのある文章を書く。	●	●	●		9	○	○	●	●	●	●	●	●	●	
24	2-3	第3　コミュニケーション英語Ⅱ	(2)　(1)に示す言語活動を効果的に行うために，次のような事項について指導するよう配慮するものとする。	－	－	－	－	0										
25	2-3	第3　コミュニケーション英語Ⅱ	ア　英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞いたり話したりすること。		●		●	9	○	○	●	●	●	●	●	●	●	
26	2-3	第3　コミュニケーション英語Ⅱ	イ　論点や根拠などを明確にするとともに，文章の構成や図表との関連などを考えながら読んだり書いたりすること。	●		●		9	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
27	2-3	第3　コミュニケーション英語Ⅱ	ウ　未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞いたり読んだりすること。	●	●			9	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
28	2-3	第3　コミュニケーション英語Ⅱ	エ　説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりすること。			●	●	9	○	○	●	●	●	●	●	●	●	
29	2-3	第3　コミュニケーション英語Ⅱ	3　内容の取扱い 「コミュニケーション英語Ⅰ」の3と同様に取り扱うものとする。	－	－	－	－	0										
30	2-4	第4　コミュニケーション英語Ⅲ	1　目標 英語を通じて，積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに，情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を更に伸ばし，社会生活において活用できるようにする。	●	●	●	●	9	○	○	○	○	○	○	●	●	○	
31	2-4	第4　コミュニケーション英語Ⅲ	2 内容 (1)　1の目標に基づき，「コミュニケーション英語Ⅱ」の2の(1)に示す言語活動を更に発展させて行う。	－	－	－	－	0										
32	2-4	第4　コミュニケーション英語Ⅲ	(2)　(1)に示す言語活動を行うに当たっては，「コミュニケーション英語Ⅱ」の2の(2)と同様に配慮するものとする。	－	－	－	－	0										
33	2-4	第4　コミュニケーション英語Ⅲ	3 内容の取扱い 「コミュニケーション英語Ⅰ」の3と同様に取り扱うものとする。	－	－	－	－	0										
34	2-5	第5　英語表現Ⅰ	1 目標 英語を通じて，積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに，事実や意見などを多様な観点から考察し，論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。	●	●	●	●	9	●	●	●	●	●	●	○	○	●	

2017年度 高校教科書採択状況　　出所：2017年2月3日 内外教育

1. コミュニケーション英語基礎　50,556冊 (1.0%)
2. コミュニケーション英語Ⅰ　1,263,714冊 (25.8%)
3. コミュニケーション英語Ⅱ　1,107,562冊 (22.6%)
4. コミュニケーション英語Ⅲ　765,586冊 (15.6%)
5. 英語表現Ⅰ　904,034冊 (18.4%)
6. 英語表現Ⅱ　642,661冊 (13.1%)
7. 英語会話　168,317冊 (3.4%)

計　4,902,430冊 (100.0%)

（参考）センター試験の出題範囲
・コミュニケーション英語Ⅰ
・コミュニケーション英語Ⅱ
・英語表現Ⅰ

				4技能統合				CEFR Level	1 A2 Key	2 A2 Key for Schools	3 B1 Preliminary	4 B1 Preliminary for Schools	5 B2 First	6 B2 First for Schools	7 C1 Advanced	8 C2 Proficiency	9 Linguaskill	Cambridge Englsih Scale
								C2							C2	C2	C2	200+
								C1					C1	C1	C1	C1	C1	180-199
								B2			B2	B2	B2	B2	B2		B2	160-179
								B1	B1	B1	B1	B1	B1	B1			B1	140-159
								A2	A2	A2	A2	A2					A2	120-139
				R	L	W	S	A1	A1	A1							A1	100-119
35	2-5	第５　英語表現Ⅰ	２　内容 (1)　生徒が情報や考えなどを理解したり伝えたりすることを実践するように具体的な言語の使用場面を設定して，次のような言語活動を英語で行う。	–	–	–	–	0										
36	2-5	第５　英語表現Ⅰ	ア　与えられた話題について，即興で話す。また，聞き手や目的に応じて簡潔に話す。				●	9	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
37	2-5	第５　英語表現Ⅰ	イ　読み手や目的に応じて，簡潔に書く。			●		9	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
38	2-5	第５　英語表現Ⅰ	ウ　聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどをまとめ，発表する。	●	●	●	●	9	○	○	●	●	●	●	●	●	○	
39	2-5	第５　英語表現Ⅰ	(2)　(1)に示す言語活動を効果的に行うために，次のような事項について指導するよう配慮するものとする。	–	–	–	–	0										
40	2-5	第５　英語表現Ⅰ	ア　リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴，話す速度，声の大きさなどに注意しながら話すこと。				●	9	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
41	2-5	第５　英語表現Ⅰ	イ　内容の要点を示す語句や文，つながりを示す語句などに注意しながら書くこと。また，書いた内容を読み返すこと。			●		9	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
42	2-5	第５　英語表現Ⅰ	ウ　発表の仕方や発表のために必要な表現などを学習し，実際に活用すること。	●		●	●	9	●	●	●	●	●	●	●	●	○	
43	2-5	第５　英語表現Ⅰ	エ　聞いたり読んだりした内容について，そこに示されている意見を他の意見と比較して共通点や相違点を整理したり，自分の考えをまとめたりすること。	●	●	●	●	9	○	○	●	●	●	●	●	●	○	
44	2-5	第５　英語表現Ⅰ	３　内容の取扱い ⑴　中学校におけるコミュニケーション能力の基礎を養うための総合的な指導を踏まえ，話したり書いたりする言語活動を中心に，情報や考えなどを伝える能力の向上を図るよう指導するものとする。	–	–	–	–	0										
45	2-5	第５　英語表現Ⅰ	(2)　聞くこと及び読むことをも有機的に関連付けた活動を行うことにより，話すこと及び書くことの指導の効果を高めるよう工夫するもの	–	–	–	–	0										
46	2-5	第５　英語表現Ⅰ	(3)　生徒の実態に応じて，多様な場面における言語活動を経験させながら，中学校や高等学校における学習内容を繰り返して指導し定着を図るよう配慮するものとする。	–	–	–	–	0										
47	2-6	第６　英語表現Ⅱ	１　目標 英語を通じて，積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに，事実や意見などを多様な観点から考察し，論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を伸ばす。	●	●	●	●	9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
48	2-6	第６　英語表現Ⅱ	２　内容 (1)　生徒が情報や考えなどを理解したり伝えたりすることを実践するように具体的な言語の使用場面を設定して，次のような言語活動を英語で行う。	–	–	–	–	0										
49	2-6	第６　英語表現Ⅱ	ア　与えられた条件に合わせて，即興で話す。また，伝えたい内容を整理して論理的に話す。				●	9	○	○	○	○	●	●	●	●	●	
50	2-6	第６　英語表現Ⅱ	イ　主題を決め，様々な種類の文章を書く。			●		9	○	○	○	○	●	●	●	●	●	
51	2-6	第６　英語表現Ⅱ	ウ　聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどをまとめ，発表する。また，発表されたものを聞いて，質問したり意見を述べたりする。	●	●	●	●	8	○	○	○	○	●	●	●	●		
52	2-6	第６　英語表現Ⅱ	エ　多様な考え方ができる話題について，立場を決めて意見をまとめ，相手を説得するために意見を述べ合う。			●	●	8	○	○	○	○	●	●	●	●		
53	2-6	第６　英語表現Ⅱ	(2)　(1)に示す言語活動を効果的に行うために，次のような事項について指導するよう配慮するものとする。	–	–	–	–	0										
54	2-6	第６　英語表現Ⅱ	ア　英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら話すこ				●	9	○	○	○	○	●	●	●	●	●	
55	2-6	第６　英語表現Ⅱ	イ　論点や根拠などを明確にするとともに，文章の構成や図表との関連，表現の工夫などを考えながら書くこと。また，書いた内容を読み返して推敲すること。	●		●		9	○	○	○	○	●	●	●	●	●	
56	2-6	第６　英語表現Ⅱ	ウ　発表の仕方や討論のルール，それらの活動に必要な表現などを学習し，実際に活用すること。			●	●	9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
57	2-6	第６　英語表現Ⅱ	エ　相手の立場や考えを尊重し，互いの発言を検討して自分の考えを広げるとともに，課題の解決に向けて考えを生かし合うこと。		●		●	8	○	○	○	○	○	○	○	○		
58	2-6	第６　英語表現Ⅱ	３　内容の取扱い 「英語表現Ⅰ」の3と同様に取り扱うものとする。	–	–	–	–	0										
59	2-7	第７　英語会話	１　目標 英語を通じて，積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに，身近な話題について会話する能力を養う。	●	●	●	●	0										
60	2-7	第７　英語会話	２内容 (1)　生徒が情報や考えなどを理解したり伝えたりすることを実践するように具体的な言語の使用場面を設定して，次のような言語活動を英語で行う。	–	–	–	–	0										
61	2-7	第７　英語会話	ア　相手の話を聞いて理解するとともに，場面や目的に応じて適切に応答する。		●		●	8	○	○	○	○	○	○	○	○		
62	2-7	第７　英語会話	イ　関心のあることについて相手に質問したり，相手の質問に答えたりする。		●		●	8	○	○	○	○	○	○	○	○		
63	2-7	第７　英語会話	ウ　聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどを場面や目的に応じて適切に伝える。	●	●		●	9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
64	2-7	第７　英語会話	エ　海外での生活に必要な基本的な表現を使って，会話する。				●	9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
65	2-7	第７　英語会話	(2)　(1)に示す言語活動を効果的に行うために，次のような事項について指導するよう配慮するものとする。	–	–	–	–	0										
66	2-7	第７　英語会話	ア　リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴，話す速度，声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。		●		●	9	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
67	2-7	第７　英語会話	イ　繰り返しを求めたり，言い換えたりするときなどに必要となる表現を活用すること。		●		●	8	○	○	○	○	○	○	○	○		
68	2-7	第７　英語会話	ウ　ジェスチャーなどの非言語的なコミュニケーション手段の役割を理解し，場面や目的に応じて適切に用いること。				●	0										
69	2-7	第７　英語会話	３内容の取扱い (1)　中学校におけるコミュニケーション能力の基礎を養うための総合的な指導を踏まえ，実際の会話に即した言語活動を多く取り入れながら，聞いたり話したりする能力の向上を図るよう指導するものと	–	–	–	–	0										
70	2-7	第７　英語会話	(2)　読むこと及び書くことをも有機的に関連付けた活動を行うことにより，聞くこと及び話すことの指導の効果を高めるよう工夫するもの	–	–	–	–	0										
71	2-7	第７　英語会話	(3)　生徒の実態に応じて，多様な場面における言語活動を経験させながら，中学校や高等学校における学習内容を繰り返して指導し定着を図るよう配慮するものとする。	–	–	–	–	0										
72	3-1	第3款　英語に関する各科目に共通する内容等	１　英語に関する各科目の2の(1)に示す言語活動を行うに当たっては，例えば，次に示すような言語の使用場面や言語の働きの中から，各科目の目標を達成するのにふさわしいものを適宜取り上げ，有機的に組み合わせて活用する。	–	–	–	–	0										
73	3-1	第3款　英語に関する各科目に共通する内容等	［言語の使用場面の例］ a　特有の表現がよく使われる場面： ・買物　・旅行　・食事　・電話での応答　・手紙や電子メールのやりとり　など	●	●	●	●	9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

2017年度 高校教科書採択状況　　出所：2017年2月3日 内外教育

1. コミュニケーション英語基礎　50,556冊 (1.0%)
2. コミュニケーション英語Ⅰ　1,263,714冊 (25.8%)
3. コミュニケーション英語Ⅱ　1,107,562冊 (22.6%)
4. コミュニケーション英語Ⅲ　765,586冊 (15.6%)
5. 英語表現Ⅰ　904,034冊 (18.4%)
6. 英語表現Ⅱ　642,661冊 (13.1%)
7. 英語会話　168,317冊 (3.4%)

計　4,902,430冊 (100.0%)

（参考）センター試験の出題範囲
・コミュニケーション英語Ⅰ
・コミュニケーション英語Ⅱ
・英語表現Ⅰ

				4技能統合				CEFR Level	1 A2 Key	2 A2 Key for Schools	3 B1 Preliminary	4 B1 Preliminary for Schools	5 B2 First	6 B2 First for Schools	7 C1 Advanced	8 C2 Proficiency	9 Linguaskill	Cambridge Englsih Scale
								C2							C2	C2	C2	200+
								C1					C1	C1	C1	C1	C1	180-199
								B2			B2	B2	B2	B2	B2		B2	160-179
								B1	B1	B1	B1	B1	B1	B1			B1	140-159
								A2	A2	A2	A2	A2					A2	120-139
				R	L	W	S	A1	A1	A1							A1	100-119
74	3-1	第3款　英語に関する各科目に共通する内容等	b　生徒の身近な暮らしや社会での暮らしにかかわる場面： ・家庭での生活　・学校での学習や活動　・地域での活動　・職場での活動　など	●	●	●	●	9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
75	3-1	第3款　英語に関する各科目に共通する内容等	c　多様な手段を通じて情報などを得る場面： ・本，新聞，雑誌などを読むこと　・テレビや映画などを観ること　・情報通信ネットワークを活用し情報を得ること　など	●	●			9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
76	3-1	第3款　英語に関する各科目に共通する内容等	［言語の働きの例］ a　コミュニケーションを円滑にする： ・相づちを打つ　・聞き直す　・繰り返す　・言い換える　・話題を発展させる　・話題を変える　など		●	●	●	8	○	○	○	○	○	○	○	○		
77	3-1	第3款　英語に関する各科目に共通する内容等	b　気持ちを伝える： ・褒める　・謝る　・感謝する　・望む　・驚く　・心配する　など			●	●	9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
78	3-1	第3款　英語に関する各科目に共通する内容等	c　情報を伝える： ・説明する　・報告する　・描写する　・理由を述べる　・要約する　・訂正する　など			●	●	9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
79	3-1	第3款　英語に関する各科目に共通する内容等	d　考えや意図を伝える： ・申し出る　・賛成する　・反対する　・主張する　・推論する　・仮定する　など			●	●	9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
80	3-1	第3款　英語に関する各科目に共通する内容等	e　相手の行動を促す： ・依頼する　・誘う　・許可する　・助言する　・命令する　・注意を引く			●	●	9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
81	3-2	第3款　英語に関する各科目に共通する内容等	2　英語に関する各科目の2の(1)に示す言語活動を行うに当たっては，中学校学習指導要領第2章第9節第2の2の(3)及び次に示す言語材料の中から，それぞれの科目の目標を達成するのにふさわしいものを適宜用いて行わせる。その際，「コミュニケーション英語Ⅰ」においては，言語活動と効果的に関連付けながら，ウに掲げるすべての事項を適切に取り扱うものとする。	－	－	－	－	0										
82	3-2	第3款　英語に関する各科目に共通する内容等	ア　語，連語及び慣用表現 (ｱ)　語 a「コミュニケーション英語Ⅰ」にあっては，中学校で学習した語に400語程度の新語を加えた語	●	●	●	●	9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
83	3-2	第3款　英語に関する各科目に共通する内容等	b「コミュニケーション英語Ⅱ」にあっては，aに示す語に700語程度の新語を加えた語	●	●	●	●	9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
84	3-2	第3款　英語に関する各科目に共通する内容等	c「コミュニケーション英語Ⅲ」にあっては，bに示す語に700語程度の新語を加えた語	●	●	●	●	9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
85	3-2	第3款　英語に関する各科目に共通する内容等	d「コミュニケーション英語基礎」，「英語表現Ⅰ」，「英語表現Ⅱ」及び「英語会話」にあっては，生徒の学習負担を踏まえた適切な語	●	●	●	●	9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
86	3-2	第3款　英語に関する各科目に共通する内容等	(ｲ)　連語及び慣用表現のうち，運用度の高いもの	●	●	●	●	9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
87	3-2	第3款　英語に関する各科目に共通する内容等	イ　文構造のうち，運用度の高いもの	●	●	●	●	9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
88	3-2	第3款　英語に関する各科目に共通する内容等	ウ　文法事項 (ｱ)　不定詞の用法	●	●	●	●	9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
89	3-2	第3款　英語に関する各科目に共通する内容等	(ｲ)　関係代名詞の用法	●	●	●	●	9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
90	3-2	第3款　英語に関する各科目に共通する内容等	(ｳ)　関係副詞の用法	●	●	●	●	9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
91	3-2	第3款　英語に関する各科目に共通する内容等	(ｴ)　助動詞の用法	●	●	●	●	9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
92	3-2	第3款　英語に関する各科目に共通する内容等	(ｵ)　代名詞のうち，itが名詞用法の句及び節を指すもの	●	●	●	●	9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
93	3-2	第3款　英語に関する各科目に共通する内容等	(ｶ)　動詞の時制など	●	●	●	●	9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
94	3-2	第3款　英語に関する各科目に共通する内容等	(ｷ)　仮定法	●	●	●	●	9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
95	3-2	第3款　英語に関する各科目に共通する内容等	(ｸ)　分詞構文	●	●	●	●	9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
96	3-3	第3款　英語に関する各科目に共通する内容等	3　2に示す言語材料を用いるに当たっては，次の事項に配慮するものとする。 ア　現代の標準的な英語によること。ただし，様々な英語が国際的に広くコミュニケーションの手段として使われている実態にも配慮す	●	●	●	●	9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
97	3-3	第3款　英語に関する各科目に共通する内容等	イ　文法については，コミュニケーションを支えるものであることを踏まえ，言語活動と効果的に関連付けて指導すること。	●	●	●	●	9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
98	3-3	第3款　英語に関する各科目に共通する内容等	ウ　コミュニケーションを行うために必要となる語句や文構造，文法事項などの取扱いについては，用語や用法の区別などの指導が中心とならないよう配慮し，実際に活用できるよう指導すること。	●	●	●	●	9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
99	3-3	第3款　英語に関する各科目に共通する内容等	4　英語に関する各科目については，その特質にかんがみ，生徒が英語に触れる機会を充実するとともに，授業を実際のコミュニケーションの場面とするため，授業は英語で行うことを基本とする。その際，生徒の理解の程度に応じた英語を用いるよう十分配慮するもの	●	●	●	●	9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
								552	**69**	**69**	**69**	**69**	**69**	**69**	**69**	**69**	**60**	